

ひまわり

令和6年3月号



↑カラー版はこちらから

『学び続けるコツ』

校長 門脇 伸也

令和5年度も間もなく終わります。22日の卒業式には小学部4名、中学部3名が卒業します。卒業おめでとうございます。

さて、今回は、今年度最後の校内研究会にて出てきた反省や次年度へ取り組みたいことなど、意見や感想の中からピックアップしたものを御紹介します。今年度は新宿区の教育課題「ICTを活用した言語活動の育成」の研究推進校として発表を行いました。本校にとっては、「ICT」はコミュニケーションの道具の一つです。特に特別支援学校の「学び」は、自分が少しでも「できるが増える」ことで「喜び」を感じることです。これは「生きる喜び」へ繋がる大切なことで、これからもコミュニケーションの道具として、活用に取り組んでまいります。

自立活動を主とする教育課程の学習グループ①より：スイッチの活用について話し合ったが、ただ押しで終わり、押したことで「出来たね～」で終わっていたところが反省に出ていた。スイッチ操作後のコミュニケーションであったり、楽しみであったり、御家庭との連携であったりを今後は取り組んでいきたい。教員用iPadをよく使っているが、子ども用iPadを如何に使っていくのが課題である。制限を掛けて、アクセシビリティの設定をして使えるようにしていくことも必要なことだと思う。グループとして使っていきたいことは、二択や三択で選択できる余地を増やし、押したら一通りのことが答えられるのではなく、画面のなかで2つ以上のものを選択できることで子どもの選択権を増やし、意思表示を伸ばしていきたい。

自立活動を主とする教育課程のグループ②より：グループとして継続したいというのは主に2点。1つ目は、言われるような状況ではなくて、子どもが自分から伝えたい状況を作っていきたい。朝の会の「ちょっと聞いてよ」コーナーとか、体育とかで「友達のいいところ見つけ」のような設定が効果的だった。2点目は、子どもが自分から伝えるその場で、それぞれの実態にあった発表方法を提示していきたい。例えば、発声やエコミュ（カードアプリ）、スイッチを押す、ワークシートに書く、iPadに入力するなど子どもたちが自分（実態）にあった方法を選んで、思わず話したくなるような状況づくりを継続していきたい。

知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程のグループより：前年度はタブレットの操作方法が全く分からない子どもが多かったが、今年度はオクリンクやPowerPointなどを使った個別の指導時間を増やしたことで、オクリンクでは二択三択による提示により、課題にあった写真を選ぶことができるようになったり、PowerPointでは図形を指でたどってきて「○」の形上に円形を当てはめることができるようになったりした。実態に合った支援と個別の内容を取り組んで授業づくりをしていきたい。

子どもたちが「学び」続けるコツは、教師が用意した教材が該当する子どもにマッチし、子どもの笑みが出てくるような環境を作ることです。教師は目標に向かって指導・支援に取り組んでいく中で、子どもたちが少しずつ変わっていくことに励みを感じ、子どもと共に成長していきます。そのようなマインドが染みわたっていくことで、本校の教育活動が充実したものになっていくことは、校長として願うところです。引き続き、令和6年度の本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

日々春の日差しとなっていくなかで、本校の校庭では、梅から杏の花へ移ろい、今週は桜の花が咲くことでしょう。保護者、地域及び関係機関の皆様、お近くにお寄りの際は、桜を愛でてください。

本校の杏の花も、子どもたちの門出を祝福してくれています。

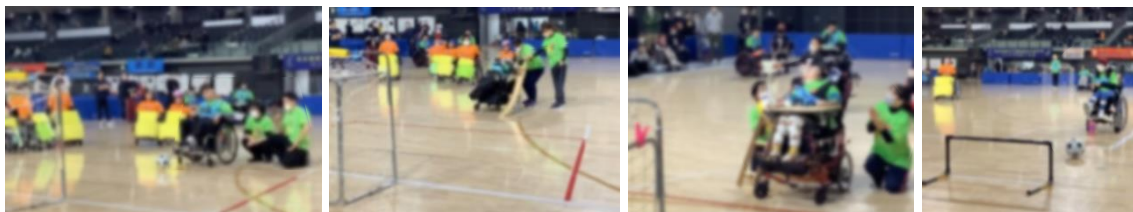


「ハンドサッカー大会」

2月17日（土）に、第35回東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会が、武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されました。前年度はコロナ感染症の影響で、交流試合という形での開催でしたが、今年度は4年ぶりにリーグ戦形式での開催となりました。本校は、中学部4名の生徒が12月からスポーツレクリエーション部として、大会出場に向けて都立永福学園との合同チームでハンドサッカーの練習に取り組んできました。

本番当日、学校の体育館とは違った大きな会場の雰囲気には驚きや緊張を見せる子どもたちもいました。しかし、試合が始まると、チームTシャツに身を包み、全員が堂々と試合に出場する姿がありました。試合の結果は、残念ながら勝利することができませんでしたが、全員にシュートチャンスが回り、コートに立てたこと、そして、広い会場で全員が試合に出て大会の雰囲気を味わえたことが本当に良かったと思います。

今後も、部活動の練習や大会を通して、子どもたちの「スポーツを楽しむ心」を育んでいきたいと思っています。

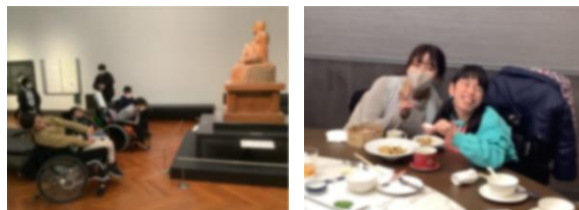


「中学部遠足」

2月27日（火）に、中学部遠足で東京国立博物館へ行ってきました。今回の遠足では、「特別展 中尊寺金色堂」と「総合文化展」の2つの展示ゾーンを見学しました。普段学校では見ることのない展示の数々に、生徒たちは興味津々で、とても意欲的な様子で見学することができました。特に今しか見ることのできない特別展では、学校で作成した特別展用の資料を見ながら、数々の国宝の展示をじっくりと眺めている様子が印象的でした。

お昼には、珍寶 海鮮舫という中華料理店でランチを食べました。テーブルが回転し、順番に料理が来るコース料理は、生徒たちも初めての体験で、「次は何が来るかな？」と、次の料理にワクワクしながら食事を楽しむことができました。午前の見学、昼食と、充実した遠足となりました。

今年度の中学部も、様々な体験活動を通してたくさんの思い出ができました。体調管理や準備等の御協力ありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。




研究部より

「研究発表のまとめ」

3月6日（水）に全校研修会を行いました。令和4・5年度新宿区教育課題研究校として行った研究発表のまとめとして、まずは、2年間の研究の過程を振り返りました。次に、各学習グループにおいて協議会を行いました。研究の振り返りの中では、改めて研究の成果と課題を整理し、全体で共有を行いました。各学習グループでの協議では、研究主題「特別支援学校におけるICTを活用した言語能力の育成」をテーマに、学習グループごとに今年度の研究について振り返り、継続していきたい活動や改善点などを協議しました。検討会の後には、全体で協議の内容を発表し共有しました。視線入力装置やスイッチの活用など、より具体的に、個別最適な活用方法について協議するなど、活発な協議会となりました。次年度では、この協議会を基に、更に研究推進を行っていききたいと思います。





卒業に寄せての メッセージ

「御卒業おめでとうございます」

小学6年生、中学3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんが児童生徒会の活動やひまわり祭などの行事での活躍する姿や、下級生に優しく接する態度は、小学部1組の子どもたちにとってよい見本でした。

小学部集会では、体育館でのレクリエーションはボールを優しく手渡したり、一緒にカードを見せ合ったりしましたね。中学部の教室で中学生と一緒に行った豆まきは、鬼役を担当した児童と豆まきをしましたね。どちらもとても大切な思い出です。


4月からは新たな環境での学びが始まります。皆さんのさらなる成長と御活躍を楽しみに、これからもずっと応援しています。

「6年間の歩み」

初めて会った時は1年生だった皆さんが、もう小学部を卒業するのかなと思うと、時の流れの早さに驚きます。

給食がなかなか食べられなかったり、気持ちをうまく切り替えられなくて怒ったり泣いたり等々、様々な姿を目にしてきました。しかし、6年間の歩みの中で、教員や友達との関わり合いや経験を通して、多くのことができるようになったことを知っています。これまでの歩みで得たものに自信をもって、これからの歩みにつないでいって下さい。

皆さんが健康であり、目の前のことに挑戦し、楽しんでいくことを願っています。御卒業おめでとうございます。



「卒業おめでとうございます！」

1年生の時、あんなにあどけない笑顔を見せていた6年生の皆さん。6年間の間に様々なことができるようになりました。食べられるものが増えた、自分で立ち上がって歩くことができるようになった、漢字が読めるようになった、友達や教員との会話を楽しみ、絆を強めることができたなど、一人ひとりに大きな成長を感じます。

4月からは楽しみにしている中学生です。新しい環境、新しい先生たちにもすぐに慣れて、それぞれ活躍してくれることを期待しています。卒業おめでとうございます。

「卒業に寄せて」

新宿養護学校を巣立つ卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。そして、お子さまの成長を見守り育ててこられた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

中学部での3年間では、様々な経験を通してぐんと世界が広がりましたね。成長するって本当に素晴らしい！ここぞという時のキリっとした表情や、最後まできちんとやり遂げようとする姿はとても眩しく映りました。

新たな門出にあたり、これからも色々な良い出会いに恵まれますようにと心から願いながら、さらなる大きな一歩を期待しています。高校生になってからも、日々の積み重ねを大切に、充実した日々となりますよう応援しています。頑張ってください！

「卒業生へのメッセージ」

みなさん、卒業おめでとうございます。この節目は、新たなステージへのスタートです。これまでの努力と成長を讃え、未来への希望を胸に抱いてください。人生は挑戦の連続です。困難に立ち向かい、夢を追い求めてください。新宿養護学校で経験したことや学んだことはきっと活かされます。

次のステージでもその「経験」や「学び」を思い出しながら頑張ってください。挑戦してください。そして、新しい環境、人との出会いに感謝して、1日1日を楽しんでください。皆様が幸多き日々になるよう心から願っています。





「御卒業おめでとうございます」

小学部6年生、中学部3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

4月から始まる新たな環境の中でも、元気に登校し、満足した様子で「また明日」と言えるように。

是非、これから自分の中にある『ご機嫌に過ごせるツボ』を見つけて下さい。よく寝て、よく食べて、しっかり体を動かして、たくさん勉強して。さらに成長した皆さんに、いつかまたお会いしたいです。

未来に向かって『でっかく生きよう！！』

「卒業・進級おめでとうございます」

小学部6年生のみなさん、中学部3年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。また、在校生のみなさん、進級おめでとうございます。

みなさんの元気・やる気には、いつも励まされています。これから、楽しいこと・嬉しいことがたくさん待っています。頑張ってください。これからも応援しています。

「旅立ちの日に」

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。新宿養護学校で過ごした小学生時代から中学生までの時間は皆さんにとってたくさんの思い出がぎゅっと詰まっていますね。何より、大切な仲間たちとの「おはよう！」に始まり「また明日ね！」までの毎日のはかけがえない宝物だと思います。

私から見た皆さんは、キラキラ輝く天使たち。これからも、それぞれが持つ個性を輝かせて、より一層キラキラしてください。



「御卒業おめでとうございます」

私たちはみなさんの元気の源になるような給食を作りたいと思い、日々頑張っています。皆さんが「今日の給食なんだろう？」とワゴンを覗く姿や先生と一緒に給食室前のホワイトボードのメニューを読み上げてお話ししている姿を見かけるととても嬉しい気持ちになりました。

いつも給食を楽しみにしてくれてありがとう。

どうぞこれからも幸せな時間を過ごされますよう給食室一同願っております。

「卒業に寄せて」

卒業する小学部の皆さんは、送迎を通して、入学の時からたくさんの成長を見ることができました。中学部のお二人は、小学部2年生の時からで、送迎も少しだけでした。でも、お二人には別の思い出があり、それは私の長男と同じ歳ということ。育ててきた年数はお二人の御両親と同じ。感慨深いです。

小学部の卒業生の皆さんはあと3年、中学部のお二人とはまたどこかで、お会いできることを楽しみに。御卒業おめでとうございます！

